

平成 25 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに關し、以下のとおり報告いたします。

学 部 名	経済学部
事 業 名	在学中の学修達成度と教育改善に関する意識調査
平成 25 年度実務担当者名	本田 一成
事 業 の 概 要	
【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？ （いずれかにチェック）	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画通りであった <input type="checkbox"/> 概ね計画通りであった <input type="checkbox"/> あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/> 計画通りではなかった	
（以下、 本年度の推進事業の概要 について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）	
1. 本事業の「目的」「内容」「計画」	
(1) 目的：経済学部の「3 つのポリシー」に基づき、学部の教育カリキュラムの改善に必要な資料のうち、学生に関わるデータを収集し、初年次教育科目・専門課程科目の教育効果、カリキュラム体系（コースなど）の学修誘導効果について、学生のアカデミックリテラシーや経済に関する知識についての主観的達成度（～ができる）、満足度（役に立った）、ならびに学修意欲の観点から分析する。	
(2) 内容と計画：以下の 4 時点において、当該学年の全学生を対象とするアンケート調査を実施する。本事業の経費は、これら 4 つのアンケート調査のデータの入力、単純集計、クロス集計のための電算委託費として使用する。	
調査時期	調査手段
1 年前期終了時	基礎演習 A
1 年後期終了時	基礎演習 B
2 年終了時	Business English
卒業時	卒業証書授与式
おもな調査内容	
基礎演習 A の満足度、学修意欲	
基礎演習 B の満足度、主観的達成度、学修意欲	
主観的達成度、専門演習への応募状況、コースに対する意識	
主観的達成度、専門演習ならびに科目群ごとの満足度	
2. 推進事業の概要	
(1) 4 つのアンケート調査をすべて予定通り実施し、経費も予定通り執行した（執行率 96.8%）。	
(2) 調査の実施にあたっては、教務委員会・自己点検評価実施委員会が連携してアンケート票を作成し、計画通りの実査が完了した。このうち、2 年終了時以外の 3 つのアンケートについては、経済学部の専任教員全員（基礎演習担当またはクラス担任）の協力のもとに実施した。	
(3) 学部自己点検評価実施委員会を 2 回開催し、アンケート調査結果の分析を行った。	